

令和3（2021）年度

北近畿地域連携機構研究助成「地域研究プロジェクト」

採択課題 研究成果報告書

研究課題名：ジオパーク活動が学童の地域への認識に与える影響－北近畿地方を例として

研究代表者（申請者）：佐藤 恵

共同研究者：芦田 信之

研究経費：353,000円

研究成果の概要：

本研究の目的は、地域に関する学習が、郷土愛の形成に与える影響を明らかにすることであった。世界的にその価値を認められた地域資源をもつ、山陰海岸ジオパークに位置する市町に、特に注目した。具体的には、豊岡市、京丹後市と隣接する与謝野町の小中学校に通学する小学校6年生と中学校2年生を対象とした。調査は、Google Formsを利用して設計された質問紙によって行われた。本研究は、地域への好意、成人後の定住意欲や関心などで、郷土愛を測定した。

本報告書は、豊岡市の児童生徒からの回答をもとにした。京丹後市と与謝野町からのデータ回収が、コロナ禍で遅れたためであった。

分析結果からいくつかの知見が得られた。まず、豊岡市に対する愛着の強さに、地域差が観察された点である。小学校6年生と中学校2年生を中学校区ごとの精査により、後者の郷土愛の確かな減衰も明らかとなった。しかし、将来の関係人口につながるであろう、豊岡市への関心度には、明らかな減少は測定されず、むしろ高まる学区がみられた。

複数地域を包含する総体としての豊岡市への愛着と地域との関係は、地域学習を設定する上で重要な要素となる可能性をもつ。また、関係人口の創出は、地域学習の効果を評価する1つの視点となると考えられる。

1. 研究開始当初の背景

地域が持つ各種文化財や資源は、住民の郷土愛を育むだけでなく、対外的にもその魅力を発信すると期待されている。たとえば、ユネスコ（United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization：UNESCO）からの各種遺産等への指定は、世界規模での影響をもつ。

その1つであるユネスコ世界ジオパークは、「地質学的重要性を有するサイトや景観が、保護・教育・持続可能な開発が一体となった概念によって管理された、単一の、統合された地理的領域」とされる[1]。本邦では、9地域がその指定を受けている。

山陰海岸国立公園を中核とした一帯は、そのユネスコ世界ジオパークに指定されている

る(以下、山陰海岸ユネスコ世界ジオパークとする)。具体的には、京都府(京丹後市)、兵庫県(豊岡市・香美町・新温泉町)、鳥取県(岩美町・鳥取市)の東西120kmにわたり、北近畿地方の広い地域にまたがる。

ところで、地域に対する肯定的な認知が、その地域への愛着を形成することが知られている[2,3]。居住年数よりも、物理的や社会的環境についての意識が、より強く作用することもあきらかにされた。郷土愛が、地域の持続性にさまざまな影響を与えることはここで改めて述べるまでもない。たとえば、定住への動機付けや関係人口^{注1)}の創出などが挙げられる[4-8]。

山陰海岸ユネスコ世界ジオパークにある市町は、世界が認めた地域財産を有する。ここで実施される地域学習では、それらの活用が可能である。これは、地域児童生徒の定住やUターンを促進する要因となるかもしれない。同時に、地域の将来の‘広報官’の育成にもつながることが期待される。これは、関係人口の育成に他ならない。

2. 研究の目的

本研究は、小中学校で実施される郷土に関する教育活動が、児童生徒の郷土愛の醸成に与える影響を明らかにする。またその成果が、持続可能な地域経営につながる可能性を検討する。

本研究は、山陰海岸ユネスコジオパークの指定地域に着目する。同地域は、福知山公立大学が位置する北近畿に広くまたがる。加えて、世界的にその価値を認められた地域資源を有する。具体的には、豊岡市、京丹後市と、隣接自治体として与謝野町がとりあげられた。

3. 研究の方法

本研究は、質問紙によるアンケート調査を実施した。質問紙は、Google Formsで設計された。概要は次のとおりであった。

調査対象：

3市町内の小中学校に通学する、小学校6年生(以下、小6生とする)と中学校2年生(以下、中2生とする)が対象であった。それぞれ、その学年で予定された地域学習のカリキュラムを履修した後とされた。

調査方法：

アンケート調査の実施にあたっては、3市町の教育委員会の協力を得た。各市町内の小中学校の地域学習担当教員から、児童生徒に質問紙のQRコードが案内された。児童生徒は、タブレットから回答を入力した。入力データは、Google Formsを介して、調査期間終了後に収集された。

実施時期は、協力市町に任せられた。自治体ごとに、地域学習の実施計画が異なるためであった。

注1) 総務省は、「定住人口」でもなく、「交流人口」でもない、地域に多様にかかわる人々と定義する(<https://www.soumu.go.jp/kankeijinkou/about/index.html>)。

調査項目：

質問項目は、小6生と中2生で同一とされた。

本研究は、居住市町に対してもつ好感の度合いや、成人後の居留意欲、関心度などで、地域への愛着を測定した。質問は、これらを直接問う項目と、地域学習で学ぶ項目に対する認知を尋ねる項目とで構成された。前者は、3市町で共通であった。後者は、それぞれの市町の小学校で実施されている地域学習の内容にあわせて作成された。豊岡市の調査で用いられた小6生向けの質問紙を付録として添付した。

分析対象と方法：

本研究は、小6生と中2生のデータを個別に分析するほかに、小学校区と中学校区を対応させて、両者のデータを中学校区ごとに比較精査した。これは、現在の小6生と中2生のデータをもって、同一集団の経時的な変化を測る試行であった。成長による郷土愛の変化の調査を目的とした。

データは、Fisherの正確確率検定などの適当な手法を用いて分析された。検定には、R(ver. 4.0.3)が利用された。

本研究は、福知山公立大学の「ヒトを対象とする研究倫理審査」を受け、承認された(2021年8月25日)。

4. 研究成果と今後の課題

本報告書は、豊岡市の調査結果をもとにした。これは、コロナ禍で授業の実施に遅れが生じたためである。与謝野町の調査は越年し、京丹後市の調査は、本報告書提出後に終了予定であった。地域学習で取り上げられた地域の資源(豊岡市ではコウノトリなど)についての分析は記述されていない。

本章は、小6生と中2生の回答結果を、まず個別に記した。次に中学校区別に、データを分析した。

4.1 結果の概要

小6生と中2生の回答状況は、表1と表2に記述された。小学校では、新田、中筋、城崎、中竹野、竹野南、清滝、合橋と高橋小学校からの回答はなかった。五荘小学校からは、1件のみであった。これは、入力時の小学校の選択誤りと推定された。中学校では、港と日高西中学校の回答が得られなかった。豊岡南中学校のデータ数からは、豊岡北中学校の生徒の誤入力の可能性も考えられた。

分析対象を決定するにあたっては、いくつかの処理が行われた。100%を超える回答数が寄せられた小中学校に対しては、重複入力が個別に探索された。入力のタイムスタンプ等をもとに、複数回答が確定されたデータは、削除された。一方、根拠を見つけれない場合は、学校全体のデータが対象外とされた。具体的には、港小学校、福住小学校、寺坂小学校の回答が除外された。

対象となった小中学校のデータの中から、主要な質問項目に対して1つでも未回答を含むデータは除外された。付録にある質問2から質問9と、質問11が、その質問項目であった。

調査期間は、小中学校ともに、2021年11月1日から30日であった。

表1 小学校別回答状況と分析対象の判断

地域名	小学校名	児童数			回答数	回答率 (%)	備考
		男子	女子	計			
豊岡	豊岡小学校	35	37	72	46	63.89	
	八条小学校	29	31	60	58	96.67	
	三江小学校	9	14	23	22	95.65	
	田鶴野小学校	12	18	30	30	100	
	五荘小学校	65	64	129	1	0.78	回答数が1件のみであったため除外(小学校の選択誤りか)
	新田小学校	12	16	28	0	0	
	中筋小学校	4	6	10	0	0	
	港小学校	6	11	17	19	111.76	*1
	神美小学校	11	12	23	23	100	
城崎	城崎小学校	14	21	35	0	0	
竹野	竹野小学校	2	15	17	17	100	
	中竹野小学校	4	4	8	0	0	
	竹野南小学校	4	0	4	0	0	
日高	府中小学校	14	12	26	26	100	
	八代小学校	2	3	5	6	120	*2
	日高小学校	38	34	72	76	105.56	*2
	静修小学校	6	2	8	8	100	
	三方小学校	9	11	20	21	105	*2
	清滝小学校	9	6	15	0	0	
出石	弘道小学校	18	12	30	31	103.33	*2
	福住小学校	4	11	15	16	106.67	*1
	寺坂小学校	2	3	5	6	120	*1
	小坂小学校	10	4	14	14	100	
	小野小学校	6	4	10	10	100	
但東	合橋小学校	7	2	9	0	0	
	高橋小学校	2	2	4	0	0	
	資母小学校	3	2	5	5	100	
全体		337	357	694	435	62.68	

*1: 重複入力を抽出できなかったため除外 *2: 入力のタイムスタンプ等で重複入力を削除

表 2 中学校別回答状況と分析対象の判断

地域名	中学校名	生徒数			回答数	回答率 (%)	備考
		男子	女子	計			
豊岡	豊岡南中学校	89	100	189	18	9.52	回答数が少ないため除外 豊岡北中学校の生徒の選択誤りの可能性もあり
	豊岡北中学校	72	84	156	135	86.54	
	港中学校	9	9	18	0	0	
城崎	城崎中学校	13	7	20	21	105	*1
竹野	竹野中学校	13	10	23	22	95.65	
日高	日高東中学校	48	55	103	0	0	
	日高西中学校	11	17	28	22	78.57	
出石	出石中学校	39	35	74	72	97.30	
但東	但東中学校	12	13	25	21	84.00	
	全体	306	330	636	311	48.90	

*1: 重複入力を抽出できなかったため除外

4.2 小6生の回答

4.2.1 分析対象とした小6生の回答

対象データは、小学校 361 個(全児童数に対する比率 0.52)であった(表 3)。無回答の学校や除外された学校があったが、標本数を勘案して、地域別にまとめて分析対象とした。具体的には、豊岡地域(豊岡、八条、三江、田鶴野と神美の 5 小学校)、竹野(竹野小学校)、日高地域(府中、八代、日高、静修と三方の 5 小学校)と出石地域(弘道、小坂と小野の 3 小学校)の 4 地域であった。但東地区は、資母小学校のみの回答であり、その数が「5 個」と少ないため、参考値として表示された。しかしそれでも、在籍児童数と分析対象データ数には、地域間で著しい有意差が検出された(Fisher の正確確率検定: $p < 0.01$)。

表 3 分析対象(小学校)

地域名	小学校名	在籍児童数	対象データ数	地域別	
				在籍児童数	対象データ数
豊岡	豊岡小学校	72	42	208	165
	八条小学校	60	55		
	三江小学校	23	19		
	田鶴野小学校	30	29		
	神美小学校	23	20		
竹野	竹野小学校	17	16	17	16
日高	府中小学校	26	25	131	123
	八代小学校	5	5		
	日高小学校	72	67		
	静修小学校	8	8		
	三方小学校	20	18		
出石	弘道小学校	30	30	54	52
	小坂小学校	14	12		
	小野小学校	10	10		
但東	資母小学校	5	5	5	5
	全体	415	361	415	361

4.2.2 質問項目別の回答状況

①あなたは、豊岡市が好きですか(小6生)

回答結果は、表 4-1 と図 1-1 に示された。

表 4-1 「豊岡市が好きか」に対する回答状況(小6生)

	とても好きである	少し好きである	あまり好きではない	好きではない	好き	好きではない
豊岡	76	84	4	1	160	5
豊岡小学校	19	21	2	0		
八条小学校	20	33	1	1		
三江小学校	9	10	0	0		
田鶴野小学校	19	10	0	0		
神美小学校	9	10	1	0	16	0
竹野	6	10	0	0		
竹野小学校	6	10	0	0	116	7
日高	59	57	7	0		
府中小学校	11	13	1	0		
八代小学校	1	3	1	0		
日高小学校	35	27	5	0		
静修小学校	7	1	0	0	51	1
三方小学校	5	13	0	0		
出石	31	20	1	0		
弘道小学校	16	13	1	0	4	-
小坂小学校	7	5	0	0		
小野小学校	8	2	0	0		
但東(参考)	4	1	0	0	4	-
資母小学校	4	1	0	0		
総計	176	172	12	1		

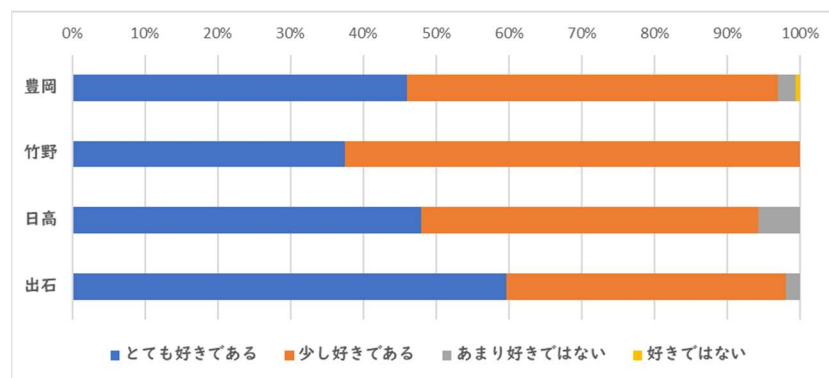


図 1-1 「豊岡市が好きか」に対する回答状況の 100%積みあげ図(小6生)

4 地域間で、回答状況に有意な差は検出されなかった(Fisher の正確確率検定:p=0.46). 豊岡市に対して前向きな答えである「とても好きである」および「少し好きである」(以下、「好き」とする)の合計と、後向きな答えである「あまり好きではない」および「好きではない」(以下、「好きではない」とする)の合計を用いて、各地域間の回答状況を比べたところ、有意差は確認されなかった(Fisher の正確確率検定:p=0.59). 「好き」の中での「とて

も好きである」と「少し好きである」の回答比率でも、明らかな違いはみられなかった (Fisher の正確確率検定: $p=0.29$) .

②豊岡市は、あなたにとって大切ですか(小6生)

表 4-2 と図 1-2 は、「豊岡市は大切か」に対する回答を示した。4つの地域に、明らかな違いは観測されなかった (Fisher の正確確率検定: $p=0.92$) .

図 4-2 「豊岡市は大切か」に対する回答状況(小6生)

	とても大切だ	まあ大切だ	あまり大切ではない	大切ではない	大切だ	大切ではない
豊岡	117	45	3	0	162	3
豊岡小学校	29	12	1	0		
八条小学校	37	17	1	0		
三江小学校	15	4	0	0		
田鶴野小学校	26	3	0	0		
神美小学校	10	9	1	0		
竹野	10	6	0	0	16	0
竹野小学校	10	6	0	0		
日高	83	37	2	1	120	3
府中小学校	13	11	0	1		
八代小学校	1	3	1	0		
日高小学校	50	16	1	0		
静修小学校	8	0	0	0		
三方小学校	11	7	0	0		
出石	34	17	1	0	51	1
弘道小学校	20	10	0	0		
小坂小学校	7	4	1	0		
小野小学校	7	3	0	0		
但東(参考)	3	2	0	0		
資母小学校	3	2	0	0		-
総計	247	107	6	1		

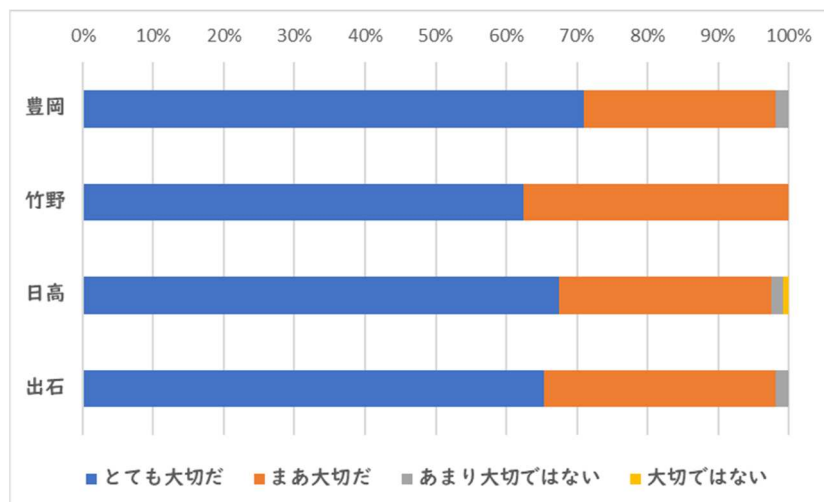


図 1-2 「豊岡市は大切か」に対する回答状況の 100%積みあげ図(小6生)

「とても大切だ」および「少し大切だ」（以下、「大切だ」とする）の合計と、「あまり大切ではない」および「大切ではない」（以下、「大切ではない」とする）の合計間と、「とても大切だ」および「少し大切だ」の間にも、有意な違いはみられなかった（Fisher の正確確率検定：それぞれ $p=0.91$, $p=0.73$ ）。

③豊岡市に住んでいる人たちは、あなたにとって大切ですか(小6生)

「豊岡市に住んでいる人たちは大切か」の答え(表 4-3 と図 1-3)には、地域間に有意傾向がみられた(Fisher の正確確率検定： $p=0.078$)。「大切だ」と「大切ではない」にまとめても、同様であった(Fisher の正確確率検定： $p=0.061$)。一方、「とても大切だ」と「少し大切だ」の回答状況には、明らかな違いはみられなかった(Fisher の正確確率検定： $p=0.20$)。

表 4-3 「豊岡市に住んでいる人たちは大切か」に対する回答状況(小6生)

	とても大切だ	少し大切だ	あまり大切ではない	大切ではない	大切だ	大切ではない
豊岡	127	38	0	0	165	0
豊岡小学校	29	13	0	0		
八条小学校	41	14	0	0		
三江小学校	15	4	0	0		
田鶴野小学校	27	2	0	0		
神美小学校	15	5	0	0		
竹野	12	4	0	0	16	0
竹野小学校	12	4	0	0		
日高	78	41	4	0	119	4
府中小学校	14	9	2	0		
八代小学校	1	3	1	0		
日高小学校	40	26	1	0		
静修小学校	8	0	0	0		
三方小学校	15	3	0	0		
出石	37	15	0	0	52	0
弘道小学校	19	11	0	0		
小坂小学校	9	3	0	0		
小野小学校	9	1	0	0		
但東(参考)	5	0	0	0		
資母小学校	5	0	0	0		—
総計	259	98	4	0		

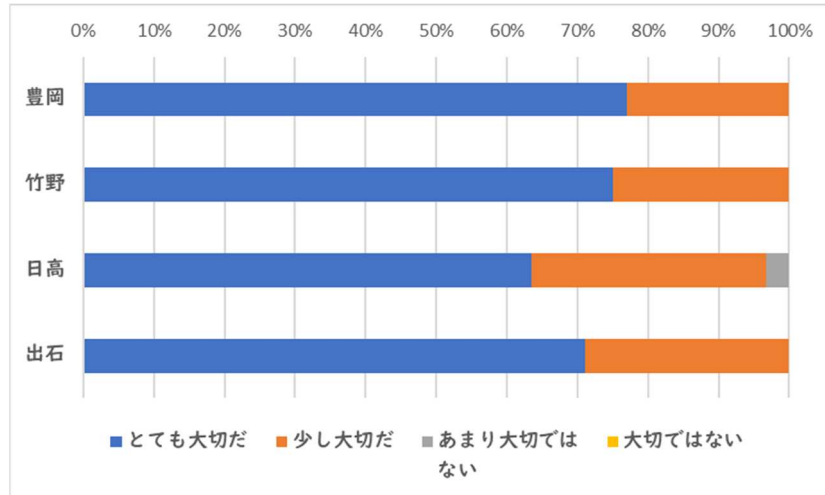


図 1-3 「豊岡市に住んでいる人たちは大切か」に対する回答状況の100%積みあげ図(小6生)

④あなたは、大人になっても豊岡市に住みたいと思いますか(小6生)

この質問に対する回答(表 4-4 と図 1-4)に、有意傾向がみられた(Fisher の正確確率検定: $p=0.073$)。肯定的な回答である「とても思う」と「少し思う」の間には、有意差が観測された(Fisher の正確確率検定: $p=0.047$)。「とても思う」および「少し思う」(以下、「思う」とする)の合計と、「あまり思わない」および「思わない」(以下、「思わない」とする)の合計間には、確かな違いは検出されなかった(Fisher の正確確率検定: $p=0.29$)。

表 4-4 「大人になっても豊岡市に住みたいか」に対する回答状況(小6生)

	とても思う	少し思う	あまり思わない	思わない	思う	思わない
豊岡	28	93	33	11	121	44
豊岡小学校	7	24	6	5		
八条小学校	8	31	14	2		
三江小学校	4	10	4	1		
田鶴野小学校	8	18	2	1		
神美小学校	1	10	7	2		
竹野	1	11	4	0	12	4
竹野小学校	1	11	4	0		
日高	30	48	40	5	78	45
府中小学校	2	8	14	1		
八代小学校	0	2	3	0		
日高小学校	19	30	15	3		
静修小学校	5	1	1	1		
三方小学校	4	7	7	0		
出石	12	26	11	3	38	14
弘道小学校	9	11	7	3		
小坂小学校	1	8	3	0		
小野小学校	2	7	1	0		
但東(参考)	2	3	0	0		-
資母小学校	2	3	0	0		
総計	73	181	88	19		

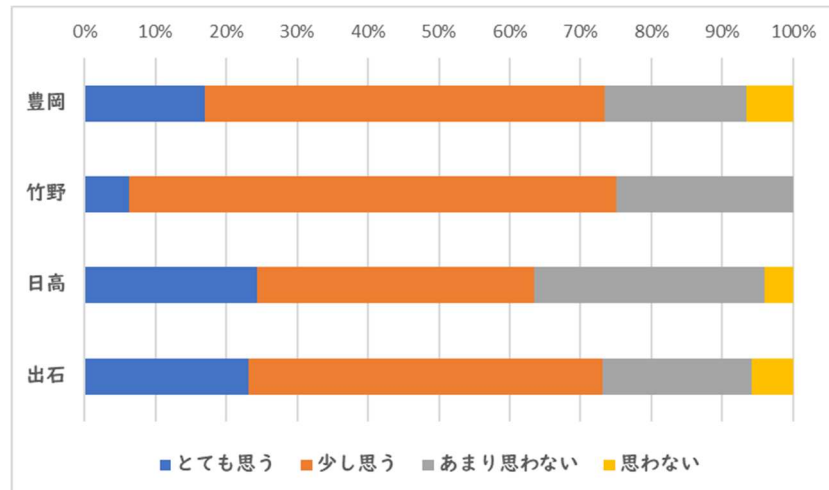


図 1-4 「大人になっても豊岡市に住みたいか」に対する回答状況の100%積みあげ図(小6生)

⑤あなたは、豊岡市についてもっと勉強したいと思いませんか(小6生)

「豊岡市についてもっと勉強したいと思うか」についての回答(表 4-5 と図 1-5)には、4地域間で有意差はみられなかった(Fisher の正確確率検定:p=0.34)。「思う」と「思わない」および「とても思う」と「少し思う」の間でも同様であった(Fisher の正確確率検定:それぞれ p=0.26, p=0.32)。

表 4-5 「豊岡市についてもっと勉強したいか」に対する回答状況(小6生)

	とても思う	まあ思う	あまり思わない	思わない	思う	思わない
豊岡	38	75	44	8	113	52
豊岡小学校	11	17	10	4		
八条小学校	9	30	14	2		
三江小学校	5	7	7	0		
田鶴野小学校	12	11	6	0		
神美小学校	1	10	7	2		
竹野	4	9	3	0	13	3
竹野小学校	4	9	3	0		
日高	32	63	24	4	95	28
府中小学校	5	7	11	2		
八代小学校	0	3	2	0		
日高小学校	20	38	7	2		
静修小学校	3	3	2	0		
三方小学校	4	12	2	0		
出石	20	21	11	0	41	11
弘道小学校	11	13	6	0		
小坂小学校	8	2	2	0		
小野小学校	1	6	3	0		
但東(参考)	2	0	3	0		-
資母小学校	2	0	3	0		
総計	96	168	85	12		

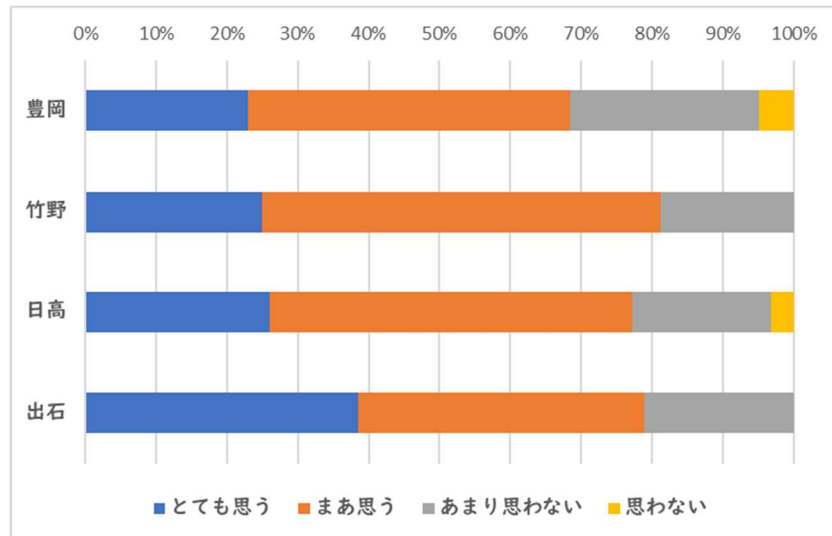


図 1-5 「豊岡市についてもっと勉強したいか」に対する回答状況の100%積みあげ図(小6生)

⑥あなたは、大人になっても豊岡市の様子を知りたいと思いますか(小6生)

「大人になっても豊岡市の様子を知りたいと思うか」に対する回答状況は、表 4-6 と図 1-6 のとおりであった。4 地域間で明らかな違いは観測されなかった(Fisher の正確確率検定: $p=0.55$)。「思う」と「思わない」および「とても思う」と「少し思う」の間にも、確かな差はみられなかった(Fisher の正確確率検定:それぞれ $p=0.5$, $p=0.29$)。

表 4-6 「大人になっても豊岡市の様子を知りたいか」に対する回答状況(小6生)

	とても思う	まあ思う	あまり思わない	思わない	思う	思わない
豊岡	50	82	27	6	132	33
豊岡小学校	7	23	10	2		
八条小学校	19	24	10	2		
三江小学校	4	11	4	0		
田鶴野小学校	16	12	1	0		
神美小学校	4	12	2	2		
竹野	7	6	3	0	13	3
竹野小学校	7	6	3	0		
日高	46	51	19	7	97	26
府中小学校	8	7	8	2		
八代小学校	0	3	2	0		
日高小学校	23	32	7	5		
静修小学校	5	2	1	0		
三方小学校	10	7	1	0		
出石	23	23	4	2	46	6
弘道小学校	14	12	4	0		
小坂小学校	4	6	0	2		
小野小学校	5	5	0	0		
但東(参考)	2	3	0	0		-
資母小学校	2	3	0	0		
総計	128	165	53	15		

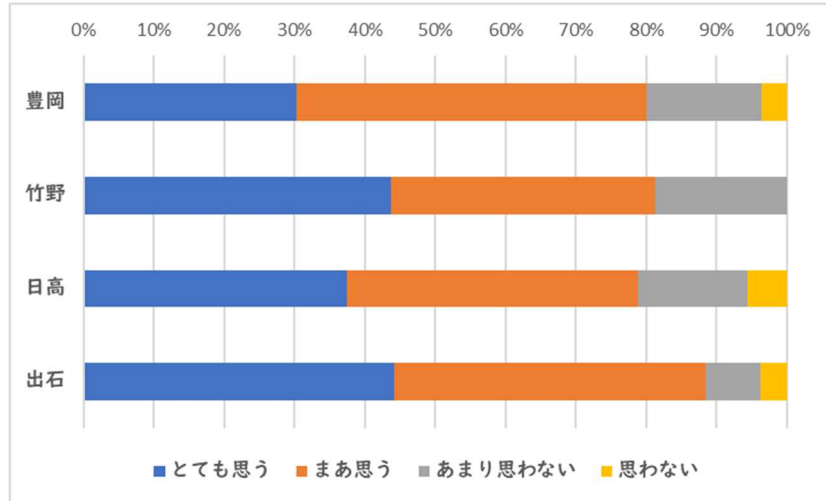


図 1-6 「大人になっても豊岡市の様子を知りたいか」に対する回答状況の100%積みあげ図(小6生)

4.3 中2生の回答

4.3.1 分析対象とした中2生の回答

中2生のデータのうち、287個が分析された(全生徒数に対する比率0.45)(表5)。中2生の回答には、中学校別の分析がなされた。豊岡地域は、豊岡南中学校の回答状況を勘案し、豊岡北中学校のみが対象とされた。回答率には、6中学校間で有意差が観察された(Fisherの正確確率検定: $p=0.064$)。

表5 分析対象(中学校)

地域名	中学校名	対象データ数
豊岡	豊岡北中学校	133
城崎	城崎中学校	19
竹野	竹野中学校	21
日高	日高西中学校	22
出石	出石中学校	71
但東	但東中学校	21
全体		287

4.3.2 質問項目別の回答状況

①あなたは、豊岡市が好きですか(中2生)

表6-1と図2-1は、「豊岡市が好きか」に対する回答状況を示した。

6中学校間で、回答状況に有意傾向が検出された(Fisherの正確確率検定: $p=0.083$)。「好き」「好きではない」の間と、「とても好きである」と「少し好きである」の回答状況には、明らかな違いはみられなかった(Fisherの正確確率検定:それぞれ $p=0.41$, $p=0.29$)。

表6-1 「豊岡市が好きか」に対する回答状況(中2生)

	とても好きである	少し好きである	あまり好きではない	好きではない	好き	好きではない
豊岡北中学校	33	86	12	2	119	14
城崎中学校	7	13	0	0	20	0
竹野中学校	3	16	0	2	19	2
日高西中学校	4	15	3	0	19	3
出石中学校	23	43	2	2	66	4
但東中学校	9	9	3	0	18	3
総計	79	182	20	6	261	26

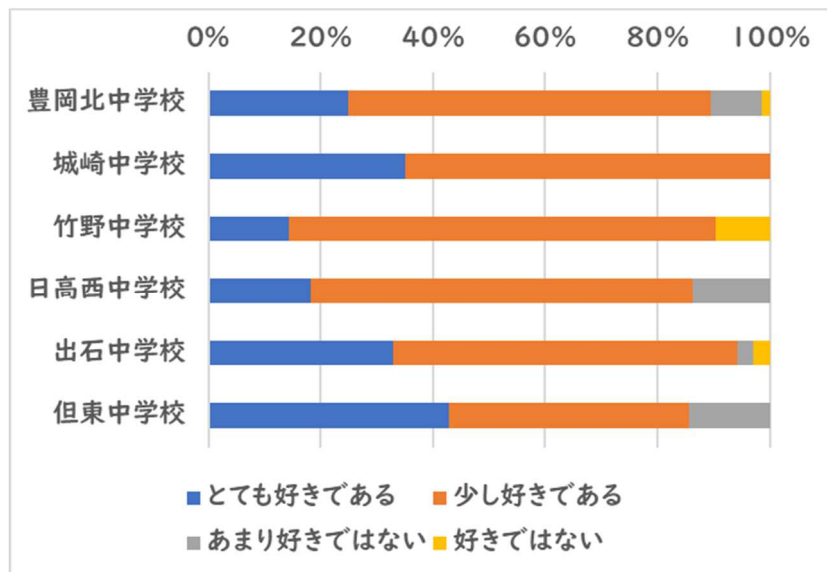


図 2-1 「豊岡市が好きか」に対する回答状況の100%積みあげ図(中2生)

②豊岡市は、あなたにとって大切ですか(中2生)

6 中学校間に明らかな有意差がみられた(表 6-2 と図 2-2) (Fisher の正確確率検定: $p=0.032$).「大切だ」と「大切ではない」の間には、明らかな差は確認されなかった(Fisher の正確確率検定: $p=0.28$). 肯定的な回答では、「とても大切だ」と「少し大切だ」の間に有意傾向が検出された(Fisher の正確確率検定: $p=0.075$).

図 6-2 「豊岡市は大切か」に対する回答状況(中2生)

	とても大切だ	まあ大切だ	あまり大切ではない	大切ではない	大切だ	大切ではない
豊岡北中学校	64	58	10	1	122	11
城崎中学校	11	9	0	0	20	0
竹野中学校	4	14	1	2	18	3
日高西中学校	8	12	2	0	20	2
出石中学校	41	26	2	1	67	3
但東中学校	9	9	3	0	18	3
総計	137	128	18	4	265	22

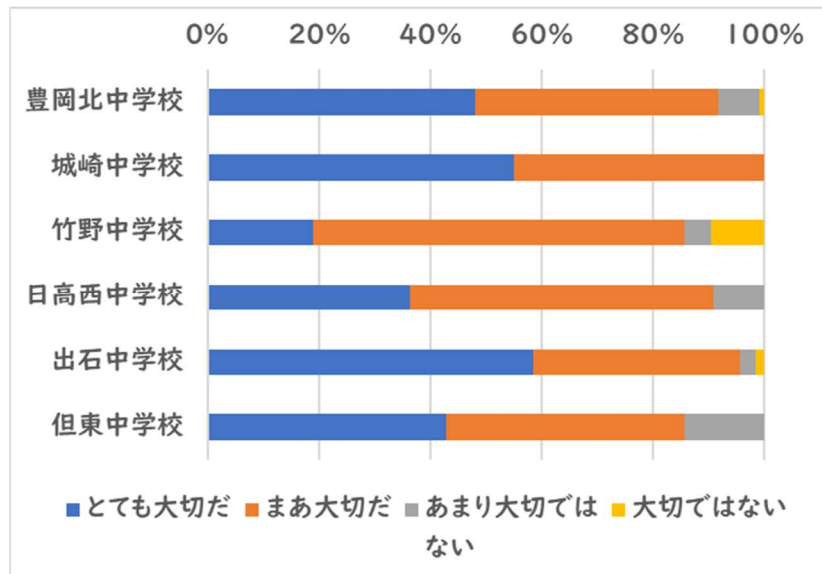


図 2-2 「豊岡市は大切か」に対する回答状況の 100%積みあげ図(中 2 生)

③豊岡市に住んでいる人たちは、あなたにとって大切ですか(中 2 生)

「豊岡市に住んでいる人たちは大切か」の答え(表 6-3 と図 2-3)には、6 中学校間に有意な差はみられなかった(Fisher の正確確率検定: $p=0.15$)。「大切だ」および「大切ではない」と、「とても大切だ」と「少し大切だ」の回答状況でも同様であった(Fisher の正確確率検定:それぞれ $p=0.31$, $p=.25$)。

表 6-3 「豊岡市に住んでいる人たちは大切か」に対する回答状況(中 2 生)

	とても大切だ	まあ大切だ	あまり大切ではない	大切ではない	大切だ	大切ではない
豊岡北中学校	84	46	2	1	130	3
城崎中学校	10	9	1	0	19	1
竹野中学校	8	11	0	2	19	2
日高西中学校	13	8	1	0	21	1
出石中学校	48	20	1	1	68	2
但東中学校	14	6	1	0	20	1
総計	177	100	6	4	277	10

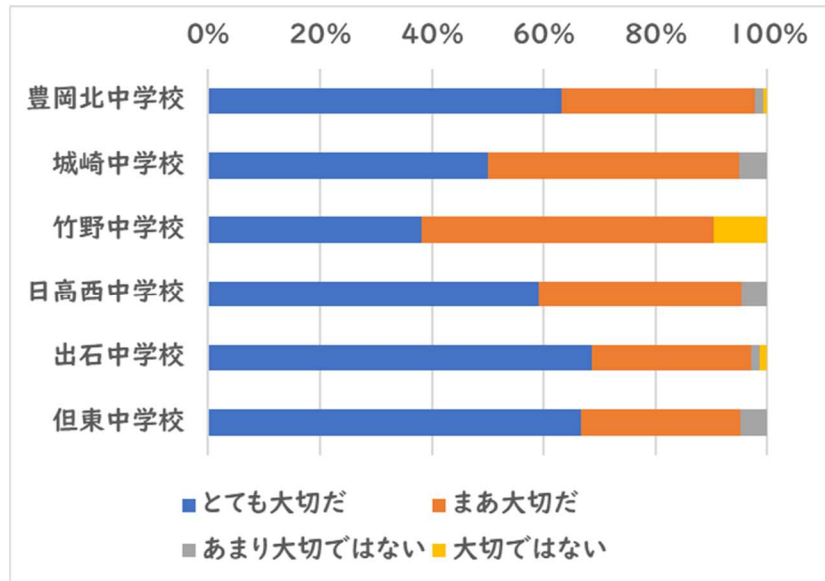


図 2-3 「豊岡市に住んでいる人たちは大切か」に対する回答状況の 100%積みあげ図 (中 2 生)

④あなたは、大人になっても豊岡市に住みたいと思いますか (中 2 生)

この質問に対する回答 (表 6-4 と図 2-4) には、6 中学校間で有意な違いは観測されなかった (Fisher の正確確率検定: $p=0.3$)。「思う」および「思わない」の間と、「とても思う」および「少し思う」とする) の合計間にも、確かな差は検出されなかった (Fisher の正確確率検定: それぞれ $p=0.16$, $p=0.29$)。

図 6-4 「大人になっても豊岡市に住みたいか」に対する回答状況 (中 2 生)

	とても思う	まあ思う	あまり思わない	思わない	思う	思わない
豊岡北中学校	10	52	58	13	62	71
城崎中学校	4	10	3	3	14	6
竹野中学校	0	13	6	2	13	8
日高西中学校	1	7	11	3	8	14
出石中学校	7	30	25	7	37	32
但東中学校	4	9	6	2	13	8
総計	26	121	109	30	147	139

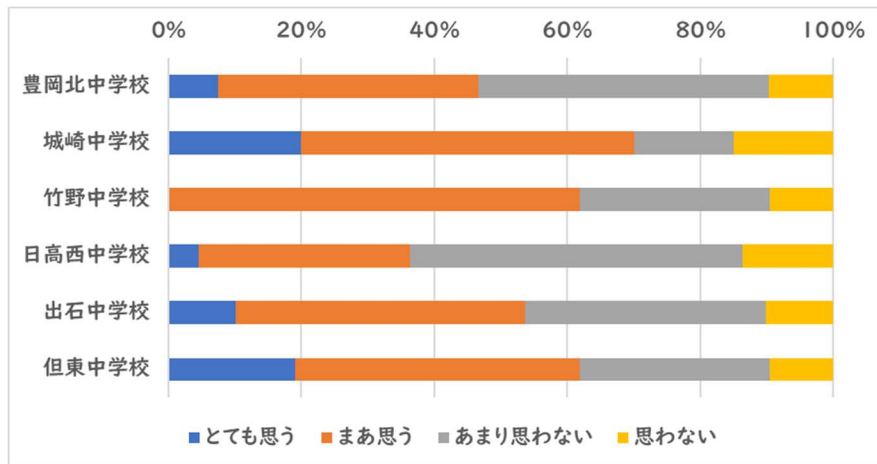


図 2-4 「大人になっても豊岡市に住みたいか」に対する回答状況の 100%積みあげ図(中 2 生)

⑤あなたは、豊岡市についてもっと勉強したいと思いませんか(中 2 生)

豊岡市についての学習意欲は、6 中学校間に有意差はみられなかった (Fisher の正確確率検定: $p=0.71$)。回答をまとめた「思う」および「思わない」と、「とても思う」と「まあ思う」の間にも確かな違いは観測されなかった (Fisher の正確確率検定: それぞれ $p=0.41$, $p=0.81$) (表 6-5 と図 2-5)。

表 6-5 「豊岡市についてもっと勉強したいか」に対する回答状況(中 2 生)

	とても思う	まあ思う	あまり思わない	思わない	思う	思わない
豊岡北中学校	14	62	49	8	76	57
城崎中学校	2	8	9	1	10	10
竹野中学校	2	11	6	2	13	8
日高西中学校	2	11	8	1	13	9
出石中学校	12	35	16	7	47	23
但東中学校	5	11	4	1	16	5
総計	37	138	92	20	175	112

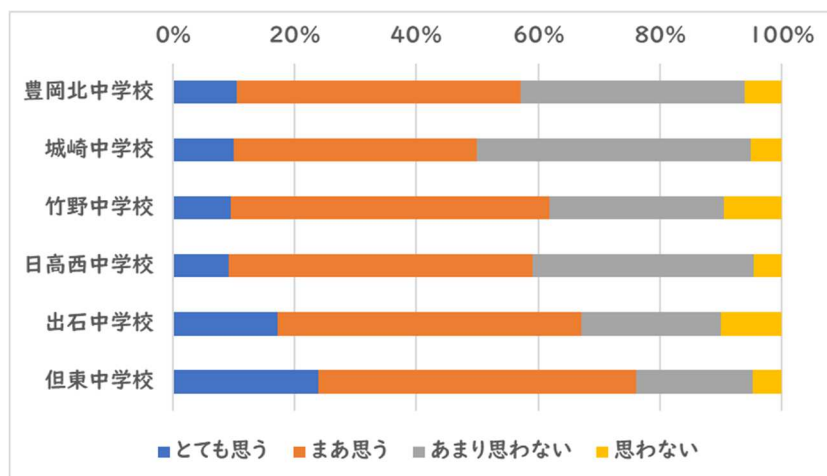


図 2-5 「豊岡市についてもっと勉強したいか」に対する回答状況の 100%積みあげ図(中 2 生)

⑥あなたは、大人になっても豊岡市を知りたいと思いますか(中2生)

豊岡市に関する情報を得ようとする姿勢には、いずれの検定でも6中学校間に、有意差はみられなかった(Fisherの正確確率検定:それぞれ $p=0.66$, $p=0.15$, $p=0.57$) (表6-6と図2-6)。

表6-6 「大人になっても豊岡市を知りたいか」に対する回答状況(中2生)

	とても思う	まあ思う	あまり思わない	思わない	思う	思わない
豊岡北中学校	30	78	19	6	108	25
城崎中学校	6	9	4	1	15	5
竹野中学校	5	11	3	2	16	5
日高西中学校	6	12	3	1	18	4
出石中学校	26	38	5	1	64	6
但東中学校	6	9	5	1	15	6
総計	79	157	39	12	236	51

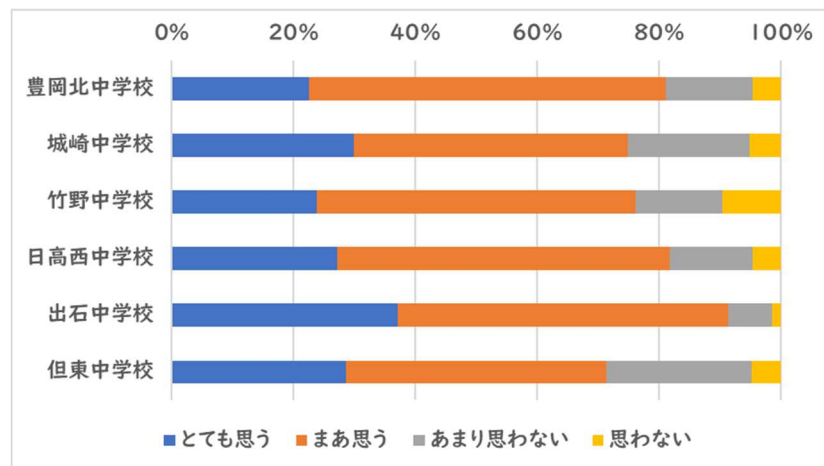


図2-6 「大人になっても豊岡市を知りたいか」に対する回答状況の100%積みあげ図(中2生)

4.4 小6生と中2生の回答の比較

本節は、小6生と中2生の回答を中学校区ごとにまとめて分析した(表7)。小6生と中2生のデータがそろっている学区のみを対象とした。豊岡地域にある豊岡小学校の中学校区は、豊岡南中学校と豊岡北中学校にまたがっていた。そのため本節は、豊岡南中学校と豊岡北中学校のデータを併せ、豊岡地域の中2生の回答として分析した。但東中学校は、小6生の回答が資母小学校に限定されたため除外された。

次に、質問項目順に分析結果が記された。

表 7 小 6 生と中 2 生のデータの関係づけ

地域名	小学校名	児童数	分析対象数-小学校	進学中学校名	対応在籍生徒数	分析対象数-中学校	備考
豊岡	豊岡小学校	72	42	豊岡南/北中学校	345	150	
	八条小学校	60	55	豊岡南中学校			
	三江小学校	23	19	豊岡南中学校			
	田鶴野小学校	30	29	豊岡北中学校			
	五荘小学校	129	0	豊岡北中学校			
	新田小学校	28	0	豊岡南中学校			
	中筋小学校	10	0	豊岡南中学校			
	港小学校	17	0	港			
	神美小学校	23	20	豊岡南中学校	345	150	
地域計	375	165		345	150		
城崎	城崎小学校	35	0	城崎中学校	20	20	除外
竹野	竹野小学校	17	16	竹野中学校	23	21	
	中竹野小学校	8	0	竹野中学校			
	竹野南小学校	4	0	竹野中学校			
	地域計	29	16		23	21	
日高	府中小学校	26	25	日高東中学校	103	0	除外
	八代小学校	5	5	日高東中学校			
	日高小学校	72	67	日高東中学校			
	静修小学校	8	8	日高東中学校			
	三方小学校	20	18	日高西中学校			
	清滝小学校	15	0	日高西中学校			
地域計	35	18		28	22		
出石	弘道小学校	30	30	出石中学校	74	70	
	福住小学校	15	0	出石中学校			
	寺坂小学校	5	0	出石中学校			
	小坂小学校	14	12	出石中学校			
	小野小学校	10	10	出石中学校			
	地域計	74	52		74	70	
但東	合橋小学校	9	0	但東中学校	25	21	除外
	高橋小学校	4	0	但東中学校			
	資母小学校	5	5	但東中学校			

①あなたは、豊岡市が好きですか(小 6 生-中 2 生)

全中学校区で、「好き」の割合が減っていた(表 8-1 と図 3-1)．加えて、肯定的な回答の中でも、「とても好き」の比率が減少していた．特に豊岡南・北中学校区では、両者に有意な落ち込みがみられた(Fisher の正確確率検定:それぞれ $p=0.019$, $p<0.01$)．また、出石中学校区では、「好き」の中の「とても好き」の占有率が明らかに小さくなっていた(Fisher の正確確率検定: $p<0.01$)．

表 8-1 「豊岡市が好きか」に対する回答状況(小 6 生-中 2 生)

		とても好きである	少し好きである	あまり好きではない	好きではない	好き	好きではない
豊岡南・北中学校区	小学校	76(0.46)	84(0.51)	4(0.02)	1(0.01)	160	5
	中学校	34(0.23)	101(0.67)	13(0.09)	2(0.01)	135	15
竹野中学校区	小学校	6(0.38)	10(0.63)	0(0)	0(0)	16	0
	中学校	3(0.14)	16(0.76)	0(0)	2(0.10)	19	2
日高西中学校区	小学校	5(0.28)	13(0.72)	0(0)	0(0)	18	0
	中学校	4(0.18)	15(0.68)	3(0.14)	0(0)	19	3
出石中学校区	小学校	31(0.60)	20(0.38)	1(0.02)	0(0)	51	1
	中学校	23(0.33)	43(0.61)	2(0.03)	2(0.03)	66	4

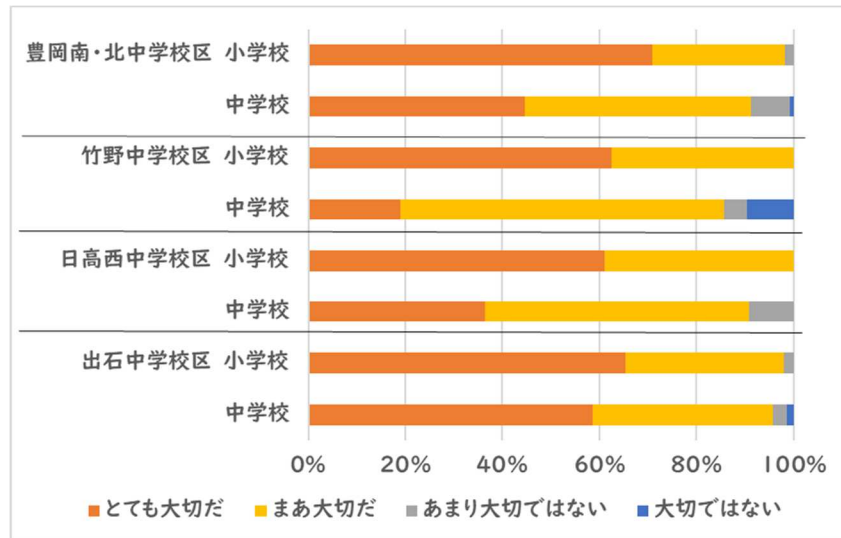


図 3-1 「豊岡市が好きか」に対する回答状況の 100%積みあげ図(小 6 生-中 2 生)

②豊岡市は、あなたにとって大切ですか(小 6 生-中 2 生)

豊岡南・北中学校区のみで、「大切だ」の比率が著しく下がっていた(Fisher の正確確率検定: $p < 0.01$)。豊岡南・北中学校区と竹野中学校区では、肯定的な回答の中での「とても大切だ」の占有率が、有意に小さくなっていた(Fisher の正確確率検定: それぞれ $p < 0.01$, $p = 0.035$)。

表 8-2 「豊岡市は大切か」に対する回答状況(小 6 生-中 2 生)

		とても大切だ	まあ大切だ	あまり大切ではない	大切ではない	大切だ	大切ではない
豊岡南・北中学校区	小学校	117(0.71)	45(0.27)	3(0.02)	0(0.00)	162	3
	中学校	67(0.45)	70(0.47)	12(0.08)	1(0.01)	137	13
竹野中学校区	小学校	10(0.63)	6(0.38)	0(0.00)	0(0.00)	16	0
	中学校	4(0.19)	14(0.67)	1(0.05)	2(0.10)	18	3
日高西中学校区	小学校	11(0.61)	7(0.39)	0(0.00)	0(0.00)	18	0
	中学校	8(0.36)	12(0.55)	2(0.09)	0(0.00)	20	2
出石中学校区	小学校	34(0.65)	17(0.33)	1(0.02)	0(0.00)	51	1
	中学校	41(0.59)	26(0.37)	2(0.03)	1(0.01)	67	3

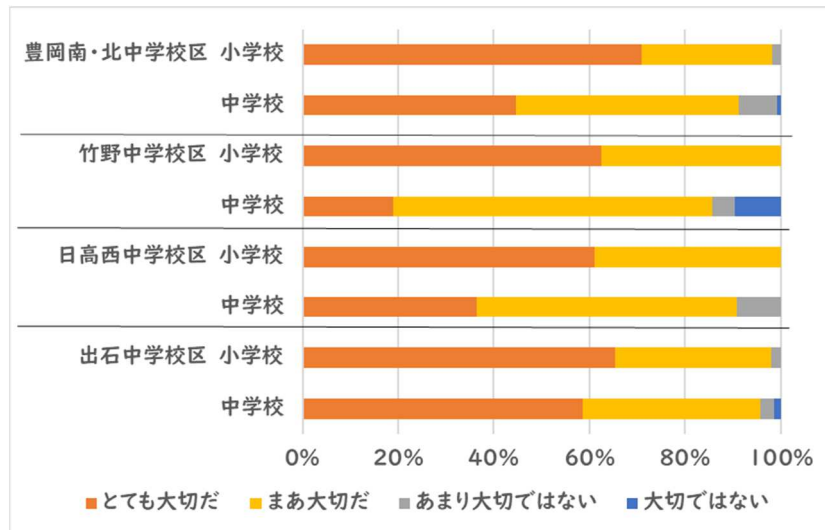


図 3-2 「豊岡市は大切か」に対する回答状況の100%積み上げ図(小6生-中2生)

③豊岡市に住んでいる人たちは、あなたにとって大切ですか(小6生-中2生)

豊岡南・北中学校区では、「大切だ」の比率とともに、その中の「とても大切だ」の割合が明らかに減っていた(Fisherの正確確率検定:それぞれ $p=0.05$, $p<0.01$)。竹野中学校区の「大切だ」中の「とても大切だ」の占有率の減少度には有意傾向がみられた(Fisherの正確確率検定: $p=0.087$)。

表 8-3 「豊岡市に住んでいる人たちは大切か」に対する回答状況(小6生-中2生)

		とても大切だ	まあ大切だ	あまり大切ではない	大切ではない	大切だ	大切ではない
豊岡南・北中学校区	小学校	127(0.77)	38(0.23)	0(0.00)	0(0.00)	165	0
	中学校	87(0.58)	59(0.39)	3(0.02)	1(0.01)	146	4
竹野中学校区	小学校	12(0.75)	4(0.25)	0(0.00)	0(0.00)	16	0
	中学校	8(0.38)	11(0.52)	0(0.00)	2(0.10)	19	2
日高西中学校区	小学校	15(0.83)	3(0.17)	0(0.00)	0(0.00)	18	0
	中学校	13(0.59)	8(0.36)	1(0.05)	0(0.00)	21	1
出石中学校区	小学校	37(0.71)	15(0.29)	0(0.00)	0(0.00)	52	0
	中学校	48(0.69)	20(0.29)	1(0.01)	1(0.01)	68	2

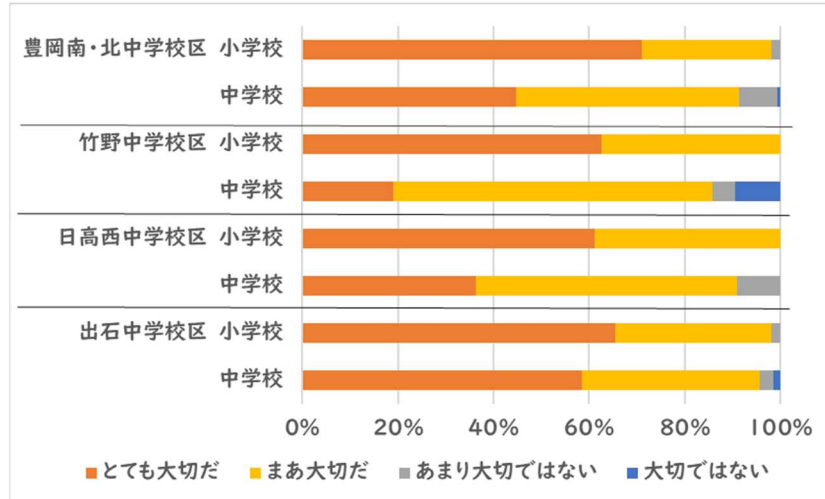


図 3-3 「豊岡市に住んでいる人たちは大切か」に対する回答状況の 100%積みあげ図(小 6 生-中 2 生)

④あなたは、大人になっても豊岡市に住みたいと思いますか(小 6 生-中 2 生)

豊岡南・北中学校区と出石中学校区で、「思う」の回答が有意に少なくなっていた(Fisher の正確確率検定:それぞれ $p < 0.01$, $p = 0.038$)

表 8-4 「大人になっても豊岡市に住みたいか」に対する回答状況(小 6 生-中 2 生)

		とても思う	まあ思う	あまり思わない	思わない	思う	思わない
豊岡南・北中学校区	小学校	28(0.17)	93(0.56)	33(0.20)	11(0.07)	121	44
	中学校	10(0.07)	61(0.41)	63(0.42)	16(0.11)	71	79
竹野中学校区	小学校	1(0.06)	11(0.69)	4(0.25)	0(0.00)	12	4
	中学校	0(0.00)	13(0.62)	6(0.29)	2(0.10)	13	8
日高西中学校区	小学校	4(0.22)	7(0.39)	7(0.39)	0(0.00)	11	7
	中学校	1(0.05)	7(0.32)	11(0.50)	3(0.14)	8	14
出石中学校区	小学校	12(0.23)	26(0.50)	11(0.21)	3(0.06)	38	14
	中学校	7(0.10)	30(0.43)	25(0.36)	7(0.10)	37	32

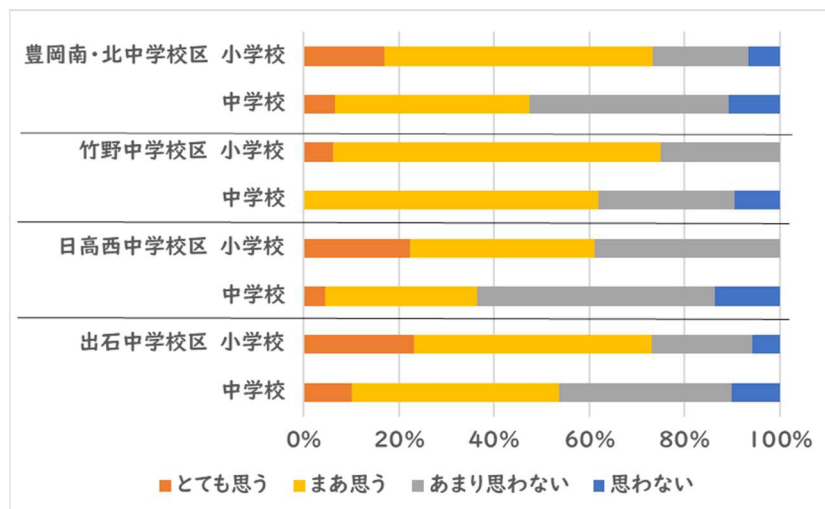


図 3-4 「大人になっても豊岡市に住みたいか」に対する回答状況の 100%積みあげ図(小 6 生-中 2 生)

⑤あなたは、豊岡市についてもっと勉強したいと思いますか(小6生-中2生)

全6中学校区で、中2生の肯定的な回答数に減少傾向がみられた。「思う」の割合は、豊岡南・北中学校区と日高西中学校区で明らかに減っていた(Fisherの正確確率検定:それぞれ $p=0.02$, $p=0.072$)。「思う」の中で「とても思う」の比率は、豊岡南・北中学校区、竹野中学校区と出石中学校区で確かに小さくなっていた(Fisherの正確確率検定:それぞれ $p=0.022$, $p=0.018$ と $p=0.028$)。

表 8-5 「豊岡市についてもっと勉強したいか」に対する回答状況(小6生-中2生)

		とても思う	まあ思う	あまり思わない	思わない	思う	思わない
豊岡南・北中学校区	小学校	38(0.23)	75(0.45)	44(0.27)	8(0.05)	113	52
	中学校	15(0.10)	68(0.45)	55(0.37)	12(0.08)	83	67
竹野中学校区	小学校	4(0.25)	9(0.56)	3(0.19)	0(0.00)	13	3
	中学校	2(0.10)	11(0.52)	6(0.29)	2(0.10)	13	8
日高西中学校区	小学校	4(0.22)	12(0.67)	2(0.11)	0(0.00)	16	2
	中学校	2(0.09)	11(0.50)	8(0.36)	1(0.05)	13	9
出石中学校区	小学校	20(0.38)	21(0.40)	11(0.21)	0(0.00)	41	11
	中学校	12(0.17)	35(0.50)	16(0.23)	7(0.10)	47	23

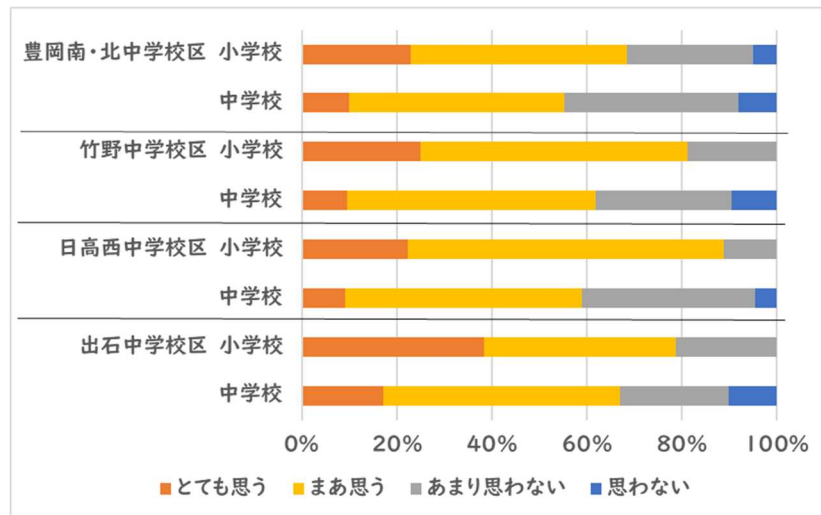


図 3-5 「豊岡市についてもっと勉強したいか」に対する回答状況の 100%積みあげ図(小6生-中2生)

⑥あなたは、大人になっても豊岡市を知りたいと思いますか(小6生-中2生)

この質問に対する回答では、6中学校区すべてで、「思う」の割合と「思う」内の「とても思う」の占有率に有意な低下はみられなかった。出石中学校区の肯定的な回答の比率は、小6生よりも中2生の方が高かった。

表 8-6 「大人になっても豊岡市を知りたいか」に対する回答状況(小6生-中2生)

		とても思う	まあ思う	あまり思わない	思わない	思う	思わない
豊岡南・北中学校区	小学校	50(0.30)	82(0.50)	27(0.16)	6(0.04)	132	33
	中学校	33(0.22)	86(0.57)	24(0.16)	7(0.05)	119	31
竹野中学校区	小学校	7(0.44)	6(0.38)	3(0.19)	0(0.00)	13	3
	中学校	5(0.24)	11(0.52)	3(0.14)	2(0.10)	16	5
日高西中学校区	小学校	10(0.56)	7(0.39)	1(0.06)	0(0.00)	17	1
	中学校	6(0.27)	12(0.55)	3(0.14)	1(0.05)	18	4
出石中学校区	小学校	23(0.44)	23(0.44)	4(0.08)	2(0.04)	46	6
	中学校	26(0.37)	38(0.54)	5(0.07)	1(0.01)	64	6

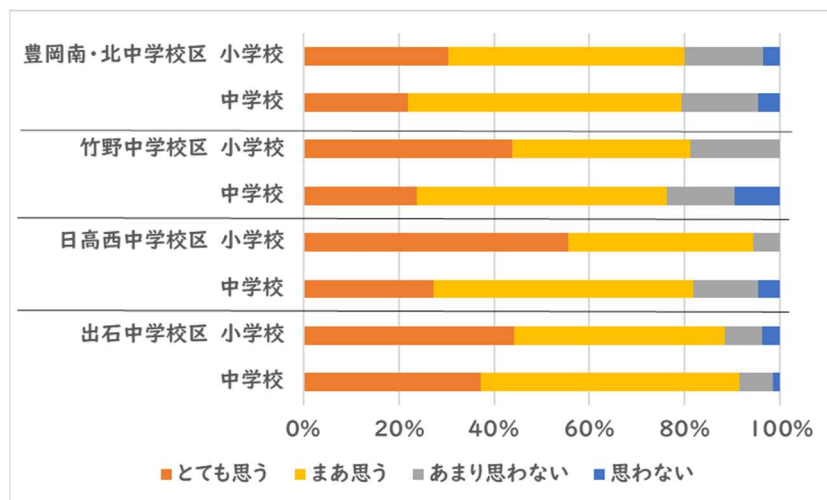


図 3-6 「大人になっても豊岡市を知りたいか」に対する回答状況の100%積みあげ図(小6生-中2生)

4.5 考察と今後の課題

本研究は、地域学習が児童生徒の郷土愛の醸成に与える影響に着目した。そのために、山陰海岸ユネスコジオパークに位置する、または近隣の市町の小6生と中2生を対象としたアンケート調査を実施した。

本節は、得られた回答をもとに、観測された地域差と、小6生と中2生との比較で得られた知見について述べた。最後に、本研究の限界と今後の課題を記述する。

4.5.1 地域に対する愛着に観測された地域差

豊岡市は、2005年に、隣接した城崎町、竹野町、日高町、出石町と但東町と合併した。小6生と中2生は、ともに合併後に出生しており、豊岡市に対する「郷土意識」に差異はないと想像される。しかし、豊岡市に対する肯定的な意識には、両学年ともに学校区間の違いがみられた。

小6生では、「豊岡市に住んでいる人」に対する意識に有意傾向がみられた(Fisherの正確確率検定: $p < 0.1$)。成人後の定住意欲にも、同様の差異が検出された(Fisherの正確確率検定: $p < 0.1$)。

これらの学校区差は、中2生にも観測された。「豊岡市が好きか」の回答には有意傾向が、

(Fisher の正確確率検定: $p < 0.1$), 「豊岡市は大切か」の答えでは, 明らかな有意差が検出された (Fisher の正確確率検定: $p < 0.05$)

本報告書には間に合わなかったが, 地域学習で学ぶ内容に対する意識にも, 学校区差が確認されることが考えられる. たとえば城崎温泉の身近さは, 旧城崎町の児童生徒と日高町の児童生徒では異なることが想像されるためである.

4.5.2 小6生と中2生の間に観察された変化

対応する学校区ごとに小6生と中2生の回答を比較した. 「成人後も豊岡市を知りたいか」を除いたすべての質問に対し, 中2生の肯定的な認識は, 小6生のそれに比べて減少していた. しかし, その減衰状況にも学校区差が観察された.

豊岡南・北中学校区は, 最も多くの質問項目で有意な減少を呈した. 「豊岡市が好きか」, 「豊岡市は大切か」, 成人後の定住意欲と「豊岡市についてもっと勉強したいか」の肯定的な回答が明らかに少なくなっていた (Fisher の正確確率検定: それぞれ $p < 0.05$, $p < 0.01$, $p < 0.01$ と $p < 0.05$). 出石中学校区では, 成人後の定住意欲が, 有意に下がっていた (Fisher の正確確率検定: $p < 0.05$). 一方, 竹野中学校区と日高西中学校区では, 肯定的な回答の占有率が減ってはいるものの, 有意な違いを検出するほどではなかった.

これに対し, 成人後も豊岡市を知りたいかに対する回答では, 異なる状況が観察された. 出石中学校区は, 中2生の方が, 小6生よりも多くの肯定的な答えを入力した. ほとんどの質問に対して, 否定的な回答が有意に増えていた豊岡南・中学校でも, それは極めて小さかった. この意欲が高い生徒は, そのまま関係人口の有力な予備軍と想定される.

身の回りのものに対する評価は, 幼いほどに絶対的なものであろう. 成長につれて比較対象は多くなり, 必然的に評価の相対度は高まる. 「競争相手」が多くなるのであるから, 肯定的な認知の減少を止めることは難しいと想像される. 文部科学省は, 総合的な学習の時間の目標の告示の中で, 「郷土を創る次世代の人材育成 や持続可能な地域社会の形成にもつながるものと考えられる」と記す[9]. 本研究で明らかとなった, 地域に対する肯定的な意識の持ち方の学校区差は, 地域学習の内容を構築際の, 有用な視点となるかもしれない. また, 関係人口の予備軍の創出も, 地域学習の評価の1つとなり得る.

4.5.3 本研究の限界と今後の課題

本研究は, 郷土愛の醸成要因として, 主に物理的な環境に着目した. たとえば, 気候などが与える影響は測定できていない. また, 経時的な変化は, 完全な同一集団ではなく, 異なる学年を同一集団とみなして分析した.

今後は, より広く影響因子を取りあげる必要がある. また, 現在の小6生が中2生になった際に, 改めて調査することが望まれる.

何よりも, 今回の調査で残された, 京丹後市と与謝野町の回答とともに, 着手できていない豊岡市が有する地域資源に関する分析を進めたい.

5. 主な発表論文等（雑誌論文、学会発表、図書、知的財産権、テレビ出演、新聞掲載、HP 公開など）

データの回収が終了後、関連学会の論文誌に投稿予定である。それ以前に、ご協力いただいた3市町の教育委員会に報告書を提出する。

謝辞

本研究の実施にあたり多大なご協力をいただいた、豊岡市、京丹後市と与謝野町の教育委員会のみなさまに感謝申し上げます。また、児童生徒への案内など、貴重な時間を割いてくださいました教員の方々に深謝いたします。最後に、実際に回答してくださった児童生徒のみなさんにお礼を申し上げます。

6. 参考文献

- [1] 日本ジオパークネットワーク，“ジオパークとは”，<https://geopark.jp/>（2021年5月1日閲覧）
- [2] 引地 博之，青木 俊明：“地域に対する愛着形成の心理過程の検討”，景観・デザイン研究講演集，No. 1，pp. 232-235（2005）
- [3] 引地 博之，青木 俊明，大淵 憲一：“地域に対する愛着の形成機構-物理的環境と社会的環境の影響-”，土木学会論文集D，65（2），pp. 101-110（2009）
- [4] 松本 京子，岳野 公人，浦田 慎，松原 道男，加藤 隆弘，鈴木 信雄，早川 和一：“地域に根ざした学校教育活動が子どもの定住志向に与える影響に関する研究-石川県能登町における海洋教育の事例から-”，環境教育，27（1），pp. 16-22（2017）
- [5] 西村 健，南條 隆彦：“若者から見た地域への愛郷心・愛着と帰巢性の関係 島田市の高校生アンケート調査等から見た地方創生の可能性”，公共コミュニケーション研究，2（1），pp. 38-43（2017）
- [6] 松原 宏：“第2期における地方創生に向けた考え方と地域学”，学術の動向，26（2），pp. 22-25（2021）
- [7] 井形 康太郎，田中 尚人：“地域学習における児童のシビックプライド形成に関する研究”，土木学会論文集D3（土木計画学），75（5），pp. 181-189（2019）
- [8] 鈴木 春菜，藤井 聡：“地域愛着が地域への協力行動に及ぼす影響に関する研究”，土木計画学研究・論文集，vol. 25，pp. 357-362（2008）
- [9] 文部科学省：“小学校学習指導要領（平成29年告示）解説”，https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afie1dfile/2019/03/18/1387017_013_1.pdf（2021年5月6日閲覧）

付録 豊岡市の小6生向けの質問紙

あなたが住(す)んでいる豊岡市について、あなたの気持(きも)ちを教(おし)えてください

*必須

1. 1. あなたが通(かよ)っている学校(がっこう)を教(おし)えてください*

1つだけマークしてください。

- 豊岡小学校
- 八条小学校
- 三江小学校
- 田鶴野小学校
- 五荘小学校
- 新田小学校
- 中筋小学校
- 港小学校
- 神美小学校
- 城崎小学校
- 竹野小学校
- 中竹野小学校
- 竹野南)小学校
- 府中小学校
- 八代小学校
- 日高小学校
- 静修小学校
- 三方小学校
- 清滝小学校
- 弘道小学校
- 福住小学校
- 寺坂小学校
- 小坂小学校
- 小野小学校
- 合橋小学校
- 高橋小学校
- 資母小学校

ここから、あなたが豊岡市にどんな気持ちをもっているかを聞きます。
「私の気持ちに一番近い」と思ったものを1つ選んでください。お願いします。

2. 2. あなたは、豊岡市が好(す)きですか？

1つだけマークしてください。

- とても好(す)きである
- まあ好(す)きである
- あまり好(す)きではない
- 好(す)きではない

3. 3. 豊岡市は、あなたにとって大切(たいせつ)ですか？

1つだけマークしてください。

- とても大切(たいせつ)だ
- まあ大切(たいせつ)だ
- あまり大切(たいせつ)ではない
- 大切(たいせつ)ではない

4. 4. 豊岡市に住(す)んでいる人たちは、あなたにとって大切(たいせつ)ですか？

1つだけマークしてください。

- とても大切(たいせつ)だ
- まあ大切(たいせつ)だ
- あまり大切(たいせつ)ではない
- 大切(たいせつ)ではない

5. 5. あなたは、大人(おとな)になっても豊岡市に住(す)みたいと思(おも)いますか？

1つだけマークしてください。

- とても思(おも)う
- まあ思(おも)う
- あまり思(おも)わない
- 思(おも)わない

6. 6. あなたは、豊岡市についてもっと勉強(べんきょう)したいと思(おも)いますか？

1つだけマークしてください。

- とても思(おも)う
- まあ思(おも)う
- あまり思(おも)わない
- 思(おも)わない

7. 7. あなたは、大人(おとな)になっても豊岡市の様子(ようす)を知(し)りたいと思(おも)いますか？

1つだけマークしてください。

- とても思(おも)う
- まあ思(おも)う
- あまり思(おも)わない
- 思(おも)わない

ここからは、豊岡市について聞(き)きます

8. 8. 左下(ひだりした)に書(か)かれた9つについて、知(し)らない人は「知らない」を、知っている場合はそれをどのくらい自慢(じまん)できるかを選(えら)んでください

ここに書(か)かれているものを知(し)らない人は「知らない」を選んでください

ここに書(か)かれているものを知(し)っている人は、どのくらい自慢(じまん)できるかをここから選(えら)んでください

コウノトリ	知らない	知っている、自慢できる	知っている、まあ自慢できる	知っているが、あまり自慢できない	知っているが、自慢できない
玄武洞	○	○	○	○	○
神鍋高原	○	○	○	○	○

1行につき1つだけマークしてください。

	知(し)らない	知(し)っている、自慢(じまん)できる	知っている、まあ自慢できる	知っているが、あまり自慢できない	知っているが、自慢できない
コウノトリ	○	○	○	○	○
玄武洞(げんぶどう)	○	○	○	○	○
神鍋高原(かんなべこうげん)	○	○	○	○	○
豊岡盆地(とよおかぼんち)	○	○	○	○	○
城崎温泉(きのさきおんせん)	○	○	○	○	○
竹野海岸(たけのかいがん) や日和山海岸(ひよりやまかいがん)	○	○	○	○	○
但馬牛(たじまぎゅう)や いがも米作(こめつく)り などの農業(のうぎょう)	○	○	○	○	○
カニ漁(りょう)などの漁業(ぎょぎょう)	○	○	○	○	○
杞柳細工(きりゅうざいく) や豊岡かばんなどの製造業(せいぞうぎょう)(ものづくり)	○	○	○	○	○

次に、豊岡市の食べ物について聞きます。

9. 9-1. 豊岡市には、特徴(とくちょう)のある食べ物(たべもの)がありますか？

1つだけマークしてください。

- ある 質問 10 にスキップします
- ない 質問 12 にスキップします

- 9-2. あなたが知(し)っている「豊岡市の特徴(とくちょう)のある食べ物(たべもの)」を教(おし)えてください

10。

9-3. あなたが知(し)っている「豊岡市の特徴(とくちょう)のある食べ物(たべもの)」を豊岡市に住(す)んでいない人(ひと)に自慢(じまん)できますか？

11。

1つだけマークしてください。

- 自慢(じまん)できる
- まあ自慢(じまん)できる
- あまり自慢(じまん)できない
- 自慢(じまん)できない

10. これまで書(か)かれていた場所(ばしょ)やことがら以外(いがい)に、豊岡市の自慢(じまん)できるものや人(ひと)などがあれば教(おし)えてください

12。

最後(さいご)に、地域(ちいき)のお祭(まつり)などの地域活動(ちいきかつどう)について聞(き)きます

13. 11. あなたは、地域(ちいき)のお祭(まつり)などの活動(かつどう)に参加(さんか)していますか？

1つだけマークしてください。

- よく参加(さんか)している
- 時々参加(ときどきさんか)している
- あまり参加(さんか)していない
- 参加(さんか)していない

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム